

新飯能

発行 党 共 産 日 本
飯 能 市 委 員 会
973-1091

金子とし江 972-6401
山田とし子 973-4710
新井たくみ 978-0175
滝沢おさむ 972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

平和の大切さ語った

第5回・新婦人まつり

新日本婦人の会飯能支部は9日、富士見公民館で、第5回の“新婦人まつり”を行い、親子で約100名が参加し、楽しい一日を過ごしました。支部長の本多美枝さんの開会あいさつの後、はっぴ姿の子どもたちによるキッズゾーンのオー



憲法9条のタペストリーを掲げて

「一本の鉛筆」の曲は第一回広島平和音楽祭で美空ひばりさんが歌った曲で、そのとき実行委員長を務めた作曲家の古賀政男さんが美空ひばりさんのために作った曲と言うことで

♪あなたに聞いてもらいたい あなたに読んでももらいたい あなたに歌ってもらいたい あなたに信じてもらいたい 一本の鉛筆があれば 私はあなたへの愛を書く 一本の鉛筆があれば 戦争はいやだと私は書く...一枚のザラ紙があれば あなたをかえしてと私は書く...一本の鉛筆があれば 八月六日の朝と書く 一本の鉛筆があれば 人間のいのちと私は書く...会場がシーンと静まりました。

子どもたちと憲法を朗読

午後6時、元気な太鼓小組の演奏で始まり、傘踊り、親子リズムの実技、

玉すだれ、朗読小組の早口言葉、若いお母さんたちの「子どもの伝える日本国憲法」には子どもも朗読に参加。憲法の大切さを子どもたちにしっかりとつなげている新婦人の姿が伺えました。会場にはレザークラブ・絵手紙・ちぎり絵・

写真・書道・着物のリフォールムなどそれぞれの小組の皆さんが作った作品が沢山展示され、お抹茶・ケーキ・コーヒーカーナーもあり、出し物の合間に楽しんでいました。わだつみ班では、30年間の旅行の写真には歴史を感じる展示物でした。

調理室が消える

小規模校の統合を報告

学校給食検討委員会

学校等給食検討委員会がこのほど検討報告書をもとめました。この検討委員会は、学校、保育所などの関係職員で構成され、①自校直営での業務委託化②全面委託③施設の統廃合④共同調理場の新設などについて検討しました。

10校の給食調理室を統合

検討会報告

検討会は、退職調理員の補充採用をこななかったため、平成20年から正規職員を各校・各保育所に一名配置できなくなること。山間部の小規模校は児童生徒一人当たりの経費が1500円以上と高額であること。調理

写真一人当たりの調理食数が大規模校に比べ少ないことなどを問題にし、次のように報告しています。 「小規模校については、自校方式と同様の給食が提供できる範囲で施設を統合し、給食に係る経費削減と給食調理員の負担の公平化を図る」として、平成21年度から順次、学校の給食調理を統廃合する。吾野4校(東吾小、吾小、西川小、吾中)の給食室を統合し、西川小で調理を行い各校に配送する。南高麗2校(南高麗小・中)については、南高麗小学校で調理し、南高麗中学校に配送する。精明2校(精明小、双柳



小)については、双柳小学校で調理し、精明小学校に配送する。飯能第二小学校については、原市場小学校で調理し、配送する。このように、「10校の給食調理室の統廃合を行い、退職不補充による正規職員1名配置の困難化の解消及び給食に係る経費の削減を図るものとする。また、将来、新たに退職不補充が進んだ際は、委託方式を取り入れるなど新たに検討し、児童生徒園児に安全で美味しい給食を提供していくものとする」など述べています。 退職調理員を採用しなかったために、正規職員が配置できなくなるのは当然で、日本共産党が議会で何度も指摘してきたことです。議会答弁では、「職員採用も含めて検討する」としていたのに、不補充を前提に経費問題を中心に議論してきたことは問題です。

波 紋

最近、「メタボリックシンドローム」という言葉を耳にします。高血圧、糖尿病などの生活習慣病は、それぞれが独立した病気ではなく、内臓に脂肪が蓄積した肥満が原因。内臓脂肪型肥満によって、さまざまな病気が引き起こされやすくなった状態を「メタボリックシンドローム」といい治療の対象にするといえます。医療費削減の一環として予防に力を入れていく。これが最近の方向のようです。もう一つ医療費を減らすために考えられているのが、入院ベッドを減らし、公立病院を減らすのだといえます。全国に現在三万八千床ある「長期療養者のためのベッド」を、半分以上の十五万床まで削減する方針を打ち出しています。それにより、退院を余儀なくされる「医療難民」が二万人。在宅や施設での受け入れすら困難な「介護難民」が四万人とのこと。日高市に埼玉医大の国際医療センターがオープンしたことで、いつでも誰でも入院できる病院であるかのように考え、「市立病院がなくたっていい」と言っているとしたら大変なことです。

憲法・増税・格差問題など

あやべ澄子予定候補の力強い訴え街に

日本共産党埼玉選挙区
のあやべ澄子予定候補は
19日、金子敏江・山田
利子・新井巧市議ともに
飯能市内各所で街頭から
訴えを行いました。

マイクを握ったあやべ
澄子さんは、自民・公明
が強行した改憲手続き法
案の問題点を指摘し、安
倍内閣が狙う憲法9条改
悪を批判しました。

「靖国派など戦争の誤り
を認めず、反省のない勢
力が9条を変えようとし
ている」と安倍内閣の危
険性を指摘しました。



あやべさんは、イ
ラクに派遣された自
衛隊員の言葉を紹介
し、「自衛隊はアメ
リカと違う。憲法9
条があるからイラク
国民に武器を向ける
ようなことはない」と
話して理解してもらっ
た」と。しかし、

増税問題では、6月か
らの住民税大増税にふれ
あるお年寄りが、「葬式
代として貯めておいたお
金まで取り崩さなければ
ならない」という悲痛な
声を紹介し、「庶民に大
増税、大企業・大金持ち
には1・7兆円もの減税
をしている」と逆立ち税
制を批判しました。

格差と貧困の問題では、
アパートが借りられずネッ
トカフェ難民と言われる
若者がいることを紹介し、
「不安定雇用を生み出し
た自民・公明の労働者派
遣法の改悪に民主党も賛
成してきた。自分がして
きたことには口をつぐ

み、反省がない党ではい
くら格差是正を叫んでも
信用できないのではない
か」と批判しました。

自転車を通りがかった
青年は、「憲法9条は絶
対に守ってください。応
援しています」と声をか
けていきました。

自校直営の 給食はおいしい 市議会議員が 給食を試食

23日、給食の試食会
が第一中学校で行われ、
山田、新井、滝沢市議な



る、2年後の大規模学童
補助金の打ち切りについ
ても「子どもたちの安全
のために、大規模学童の
分割を自治体に求めて行
きたい」と話していまし
た。

み、反省がない党ではい
くら格差是正を叫んでも
信用できないのではない
か」と批判しました。

「見直し」の内容は、今
年一〇月から、これまで
の保証協会による一〇〇
%保証（保証付き融資が
焦げついた場合、損失全
額を保証協会が穴埋めす
る）が八〇%保証（部分
保証）へと縮小され、縮
小した二〇%分を金融機
関の負担にするというも
のです。

貸し手の銀行側がリス
クを請け負うとなると、
中小零細企業に対して利
率を上げたり、きびしく
融資を後退させることの
ないよう、市の積極的な
姿勢が求められます。

また、「多重債務者」
の救済に取り組む飯能民
主商工会内「清流道場」
の道場長・大沢明氏から、
埼玉県下でも屈指の「多
重債務者」の駆け込み寺
となって、生き生きと取
り組まれていることが報
告されました。

大規模学童は分割が必要

飯能市学童クラブが総会

5月20日、飯能市学
童クラブの会総会が福祉
センターで開催され、滝

沢修議員が参加しました。
いま市民生活が厳しさ
を増す中で、共働き家庭
や一人親家庭が増えてお
り、放課後の子ども達が
安心して過ごせる場所が
求められています。飯能
市の学童クラブも利用者
が増加し、学童クラブの
会に加盟している6クラ
ブだけでも400名を超

える利用者がいます。
石田会長は、あいさつ
で「行政が施策の重点課
題とし、『放課後児童対
策事業』を認識するよう
になってきたが、補助金
の効率化の名目で『放課
後子どもプラン』により、
文科省の全児童対策事業
と厚労省の放課後児童対
策事業の補助金を一本化
し学童がなくなってしまう
自治体もある」と放課
後児童クラブの厳しい現
状を語り、国の示してい

る、2年後の大規模学童
補助金の打ち切りについ
ても「子どもたちの安全
のために、大規模学童の
分割を自治体に求めて行
きたい」と話していまし
た。

児童クラブは、子ども
たちが、安全に放課後を
過ごせ、父母も安心して
働ける場所として欠かせ
ない場所になっていきます。
市としても、十分に責任
を持つて対処することが
求められます。



る、2年後の大規模学童
補助金の打ち切りについ
ても「子どもたちの安全
のために、大規模学童の
分割を自治体に求めて行
きたい」と話していまし
た。

児童クラブは、子ども
たちが、安全に放課後を
過ごせ、父母も安心して
働ける場所として欠かせ
ない場所になっていきます。
市としても、十分に責任
を持つて対処することが
求められます。

児童クラブは、子ども
たちが、安全に放課後を
過ごせ、父母も安心して
働ける場所として欠かせ
ない場所になっていきます。
市としても、十分に責任
を持つて対処することが
求められます。

児童クラブは、子ども
たちが、安全に放課後を
過ごせ、父母も安心して
働ける場所として欠かせ
ない場所になっていきます。
市としても、十分に責任
を持つて対処することが
求められます。



発言する大沢道場長